



2020年2月号



**最近の県内経済は、消費増税の影響が残るなか、個人消費に弱さがみられるが、緩やかな回復基調にある。**

<p><b>個人消費</b></p>	<p><b>個人消費は、弱さがみられる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比2.6%減とマイナスに転じた。百貨店が同2.0%減、スーパーが同2.8%減となった。</li> <li>・12月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比0.9%減となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同8.3%減、ホームセンターが同7.5%減、一方、ドラッグストアは同6.7%増となった。</li> <li>・12月の乗用車販売は、登録車では普通乗用車が前年同月比25.5%減と3カ月連続のマイナス、小型乗用車も同11.7%減と3カ月連続のマイナスとなった。届出車の内、乗用車は同17.4%減と3カ月連続のマイナスとなった。この結果、乗用車の合計販売台数は同17.9%減の2,441台と3カ月連続で前年割れとなった。</li> </ul>
<p><b>住宅投資</b></p>	<p><b>住宅投資は、減少。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.7%減と4カ月連続のマイナスとなった。持家が同5.5%減、貸家が同47.4%減、分譲住宅が同1.6%減となった。</li> </ul>
<p><b>公共投資</b></p>	<p><b>公共投資は、増加。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の公共工事請負額は、全体で前年同月比19.2%増の63億700万円となり、4カ月連続のプラスとなった。国(含む独立行政法人等)が同26.7%増、県が同123.8%増、市町村が同12.9%減となった。</li> </ul>
<p><b>一次産業</b></p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の発表によると、2019年県産米の相対取引価格(2019年12月)は、「つがるロマン」が前年同月比0.5%低下の1万5,151円、「まっしぐら」が同0.2%上昇の1万4,701円となった。</li> <li>・2019年県産リンゴ販売は、12月の県外出荷量が前年同月比1.3%減、消費地市場価格は同14.9%上昇し、県外市場販売額は同9.0%増となった。</li> </ul> <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比52.8%減、金額は同36.3%減となった。</li> </ul>
<p><b>生産活動</b></p>	<p><b>生産活動は、足元上昇。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比1.8%上昇の110.5となり、3カ月連続で上昇した。生産用機械、金属製品、パルプ・紙などが上昇した。</li> <li>・原指数では、情報通信機械、化学、食料品、パルプ・紙、電気機械などが低下し、前年同月比0.5%低下の114.8と2カ月連続で前年同月を下回った。</li> </ul>
<p><b>設備投資</b></p>	<p><b>設備投資は、増加。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比6.0%増の3万1,279㎡と増加し、5カ月ぶりに前年同月を上回った。</li> </ul>
<p><b>雇用動向</b></p>	<p><b>有効求人倍率は、高水準を維持している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の有効求人倍率は、1.25倍となった。前月比0.05ポイント上昇し、依然として高水準が継続している。</li> </ul>

# 一次産業

## 米

「つがるロマン」は前年同月比低下するも、「まっしぐら」は上昇

農林水産省が発表した「2019年産米の相対取引価格・数量(2019年12月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比0.5%低下の1万5,151円、「まっしぐら」は同0.2%上昇の1万4,701円となった。

全銘柄平均価格は1万5,745円となり、前月比0.4%上昇、前年同月比0.3%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」2万782円であった。前年同月比で見ると、上昇幅が大きかったのは、滋賀「キヌヒカリ」(4.7%)、北海道「ゆめぴりか」(4.2%)、岐阜「コシヒカリ」(4.0%)などであった。

### ● 2019年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位: 円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	前月比	18年12月	前年同月比
青森	つがるロマン	15,053	14,870	15,097	15,151	0.4	15,221	-0.5
	まっしぐら	14,605	14,482	14,747	14,701	-0.3	14,670	0.2
岩手	ひとめぼれ	15,459	15,347	15,466	15,217	-1.6	15,338	-0.8
宮城	ひとめぼれ	15,653	15,601	15,610	15,513	-0.6	15,729	-1.4
秋田	あきたこまち	15,814	15,851	15,832	15,855	0.1	15,760	0.6
山形	つや姫	18,674	18,520	18,555	18,631	0.4	18,257	2.0
北海道	ななつぼし	15,948	15,790	15,838	15,849	0.1	16,103	-1.6
北海道	ゆめぴりか	17,115	17,094	16,826	16,901	0.4	16,213	4.2
全銘柄平均価格		15,819	15,733	15,690	15,745	0.4	15,696	0.3

資料出所: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

(注) 相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)を加重平均。

## りんご

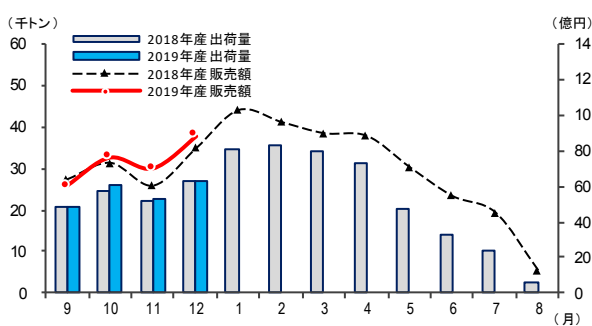
県外市場販売額、前年同月比9.0%増

2019年県産りんご販売、12月の県外出荷量は前年同月比1.3%減の2万6,806トンとなった。これは平年の12月出荷量を3.1%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比14.9%上昇、平年比較で14.9%上昇の377円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比9.0%増、平年比較では7.7%増の88億2,600万円となった。

2019年産県産りんごの12月の消費地市場価格は、台風被害や高温の影響で、各産地のりんごの数量が少なくりんご価格が高値基調で推移している中、本県産りんごは良好な品質が評価されて引き合いが強まり、大幅な高値となった。

(注) 平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

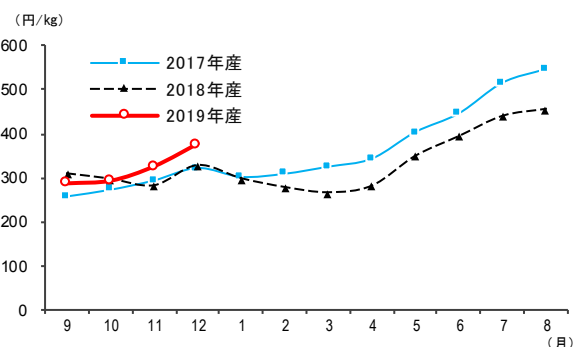
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所: 県りんご果樹課

(注) 出荷量: 生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額: 小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所: 県りんご果樹課

# 一次産業

## 海面漁業

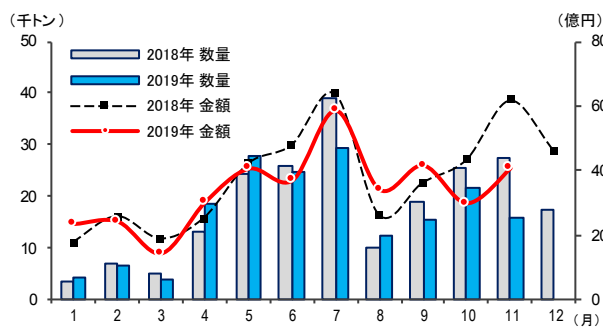
漁獲数量、金額とも前年同月比減少

11月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比42.4%減の1万5,796トン、漁獲金額は同34.4%減の40億6,055万円となった。前年同月に比べ、スルメイカ(近海・生)等が増加したものの、マイワシ、サバ、サケ等が減少したことなどが影響した。

魚種別にみると、「魚類」は、ブリ等の水揚げが増加したものの、マイワシ、サバ、サケ等の水揚げが減少し、数量が前年同月比44.7%減の1万3,791トン、金額は同40.9%減の23億6,825万円となった。

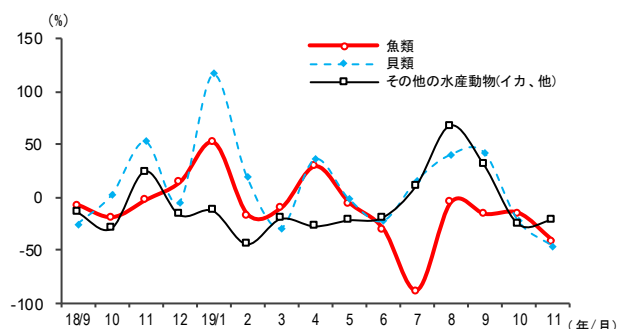
「貝類」は、ホタテガイ(成貝)等の水揚げが減少し、数量が同54.9%減の151トン、金額は同46.0%減の9,627万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ(近海・生)等の水揚げが増加したものの、スルメイカ(近海・船凍)等の水揚げが減少し、数量が同12.1%減の1,680トン、金額は同20.7%減の15億2,563万円となった。

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所: 青森県農林水産部

### ● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所: 青森県農林水産部

## 八戸港水揚げ

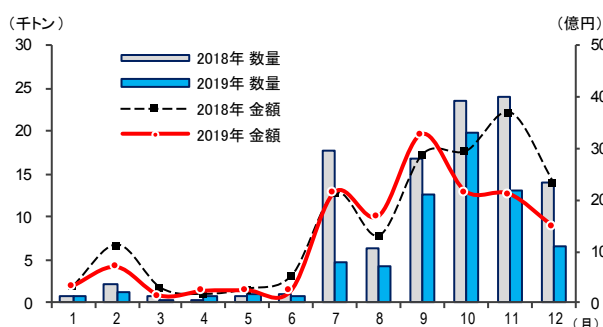
漁獲数量、金額とも前年同月比減少

12月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比52.8%減の6,588トン、金額は同36.3%減の14億8,828万円となった。

イカ釣り漁は、近海スルメイカが好調であったものの、船凍スルメイカが不調だったことなどから、数量が同88.0%減の86トン、金額は同81.6%減の9,540万円となった。大型まき網漁は、サバ、イワシが不漁であったことなどから、数量が同60.7%減の4,481トン、金額は同57.9%減の4億7,469万円となった。機船底引き網漁は、単価の高いスルメイカが順調だったことなどにより、数量が前年同月比69.6%増の892トン、金額は同97.6%増の5億4,026万円となった。

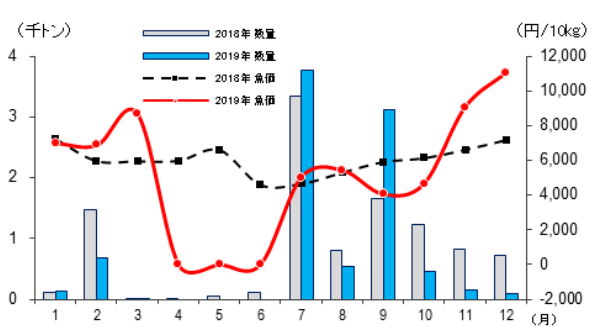
2019年の年間累計数量は前年比38.9%減の6万6,117トン、年間累計金額は同18.5%減の147億5,984万円となった。

### ● 八戸港水揚げ高



資料出所: 八戸市水産事務所

### ● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所: 八戸市水産事務所

# 二次産業

## 鉱工業生産

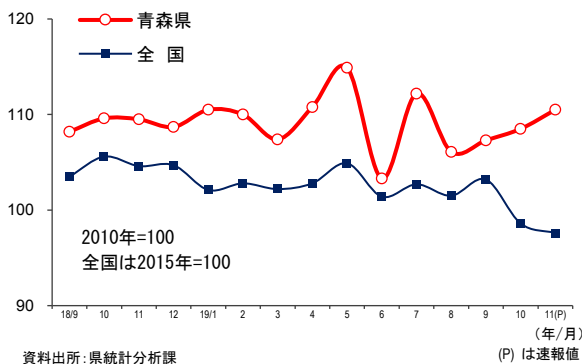
生産用機械、パルプ・紙など上昇し、3カ月連続で上昇

11月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比1.8%上昇の110.5となり、3カ月連続で上昇した。

生産用機械が前月比244.0%、金属製品が同12.9%上昇したほか、主要6業種では、パルプ・紙が同14.8%、電気機械が同8.5%、鉄鋼が同5.5%、業務用機械が同4.2%などと上昇した。一方、ウエートの大きい食料品は同2.7%、電子部品・デバイスは同0.7%などと低下した。

原指数で前年同月と比較すると、情報通信機械が同29.0%、化学が同27.3%低下したほか、主要6業種では、ウエートの大きい食料品が同3.5%、パルプ・紙が同13.9%、電気機械が同8.0%、業務用機械が同3.5%、鉄鋼が同1.3%と、それぞれ低下した。一方、生産用機械は同397.0%、電子部品・デバイスは同7.9%上昇した。全体では同0.5%低下の114.8と2カ月連続で前年同月を下回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (2019年11月)

業種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	110.5	1.8	114.8	△ 0.5
食料品 (2,410.0)	102.9	△ 2.7	114.0	△ 3.5
鉄鋼 (1,200.9)	106.0	5.5	106.4	△ 1.3
電子部品・デバイス (1,048.2)	160.9	△ 0.7	178.6	7.9
業務用機械 (1,005.1)	112.7	4.2	107.9	△ 3.5
パルプ・紙 (722.3)	78.9	14.8	80.7	△ 13.9
電気機械 (429.2)	121.0	8.5	113.0	△ 8.0

資料出所: 県統計分析課

## 設備投資

建築物着工床面積(民間非居住用)、5カ月ぶりにプラス

12月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比6.0%増の3万1,279㎡となり、5カ月ぶりに前年同月を上回った。

用途別着工床面積をみると、医療、福祉用が同1,486.8%増の1万2,012㎡、農林水産業用が同684.2%増の8,642㎡、製造業、鉱業、建設業用が同51.8%増の1,696㎡などとなった。一方、運輸・通信業用が同96.9%減の40㎡、他に分類されない建築物が同93.2%減の306㎡、卸・小売業用が同73.7%減の2,750㎡、その他のサービス業用計が同52.1%減の1,455㎡、教育、学習支援業用が同39.5%減の4,378㎡などとなった。

### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2019年12 (㎡)	2018年12月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	8,642	1,102	684.2
製造業、鉱業、建設業用	1,696	1,117	51.8
卸・小売業用	2,750	10,460	△ 73.7
運輸・通信業用	40	1,303	△ 96.9
教育、学習支援業用	4,378	7,240	△ 39.5
医療、福祉用	12,012	757	1,486.8
その他のサービス業用計	1,455	3,037	△ 52.1
他に分類されない建築物	306	4,497	△ 93.2
合計	31,279	29,513	6.0

資料出所: 県建築住宅課

# 二次産業

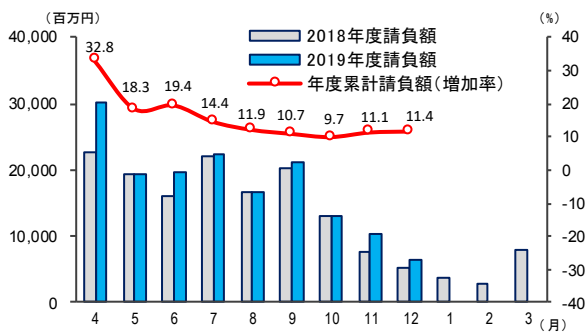
## 公共工事

市町村が減少するも、国・県が増加し、4カ月連続のプラス

12月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比19.2%増の63億700万円となり、4カ月連続のプラスとなった。

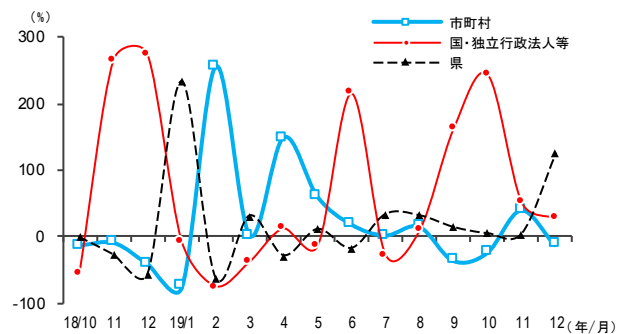
発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、国土交通省などが増加し、同26.7%増の20億400万円となった。県は県土整備部などが増加し、同123.8%増の16億8,800万円となった。市町村は、つがる市や弘前市などで増加したものの、鶴田町や三沢市などで減少し、同12.9%減の14億8,300万円となった。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

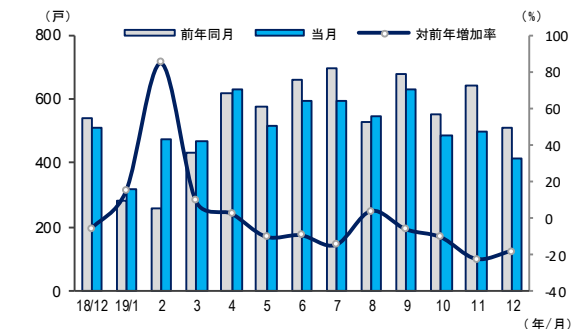
## 住宅着工

新設住宅着工戸数、4カ月連続のマイナス

12月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比18.7%減の413戸となり、4カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同5.5%減、貸家が同47.4%減、分譲住宅が同1.6%減となった。

地域別にみると、全体では南部町や六ヶ所村などで増加したものの、八戸市や青森市などで減少した。持家は、南部町や青森市などで増加したものの、黒石市や弘前市などで減少した。貸家は、六ヶ所村や南部町などで増加したものの、八戸市や青森市などで減少した。分譲住宅は、黒石市や十和田市などで増加したものの、青森市、八戸市、鶴田町などで減少した。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2019年 12月	2018年 12月	前年 同月比
持家	260	275	△ 5.5
貸家	90	171	△ 47.4
給与住宅	3	1	200.0
分譲住宅	60	61	△ 1.6
総戸数	413	508	△ 18.7

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

## 百貨店・スーパー販売

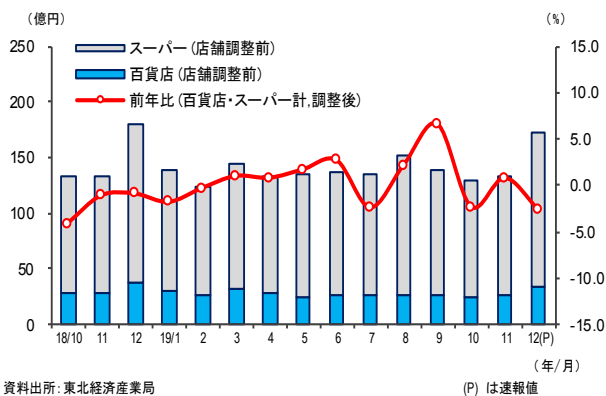
百貨店、スーパーともにマイナス

12月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、前年同月比2.6%減とマイナスに転じた。

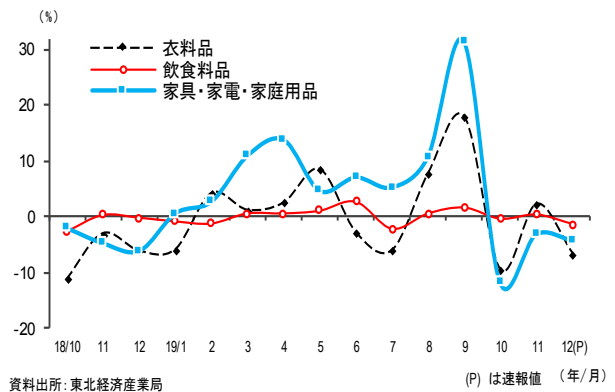
業態別では、百貨店が前年同月比2.0%減、スーパーが同2.8%減と、ともにマイナスに転じた。なお、一部店舗の長期休業の影響下にある百貨店の全店ベース売上高では同10.0%減となった。

品目別では、ボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同1.1%減、スーパーが同1.5%減と、前年を下回った。衣料品は、例年より降雪日が少なく冬物衣料の売上げが伸びず、百貨店が同3.8%減、スーパーが同10.2%減となった。家具・家電・家庭用品は、消費増税の影響下にあり、両業態合計で同4.2%減となった。

### ● 百貨店・スーパー販売動向



### ● 品目別売上高(既存店、増加率)



## 各種小売業態販売額

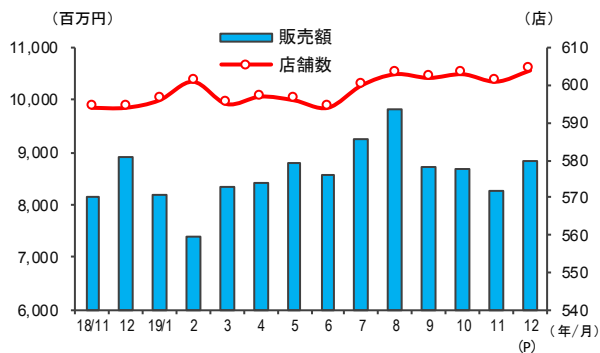
ドラッグストア以外、前年比マイナス

12月の各種小売業態販売額は、ドラッグストアは前年を上回ったものの、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ホームセンターでは前年割れとなり、明暗を分ける結果となった。

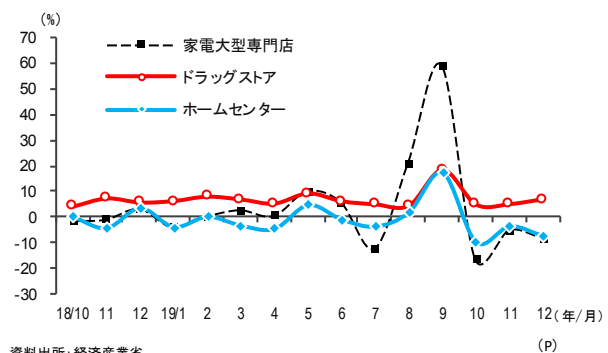
コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比0.9%減の88億3,800万円と3カ月ぶりのマイナスとなった。また、その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が消費増税実施による駆け込み需要の反動減の影響が継続したことなどから同8.3%減となり、3カ月連続の前年割れ。ホームセンターも同様に同7.5%減と、3カ月連続の前年割れ。一方、ドラッグストアはキャッシュレス支払者への値引き対応が奏功し、食料品需要等を他業態から取込む流れが持続しており同6.7%増とプラス基調が継続している。

(注) 本項はすべて速報値である。

### ● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### ● その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

## 自動車販売

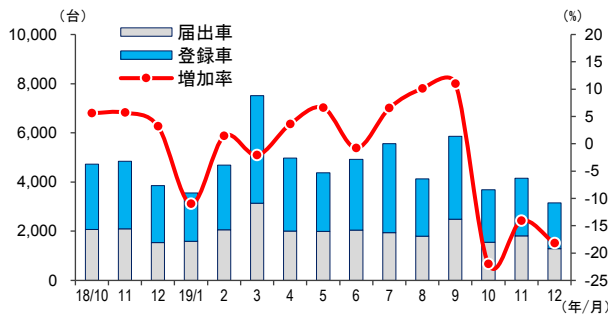
乗用車販売台数、3カ月連続マイナス

12月の自動車販売台数は、登録車が前年同月比19.6%減と3カ月連続のマイナス、届出車(軽自動車)が同16.1%減と3カ月連続のマイナスとなった。この結果、新車販売合計は同18.2%減の3,154台と、3カ月連続で前年同月を下回った。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が前年同月比25.5%減、小型乗用車も同11.7%減と、それぞれ3カ月連続のマイナスとなった。また、届出乗用は同17.4%減と3カ月連続でマイナスとなった。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同17.9%減の2,441台と3カ月連続で前年割れとなった。

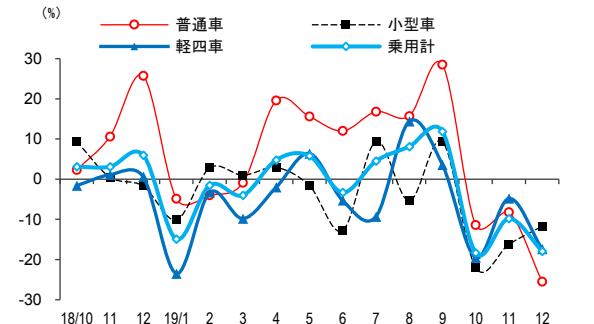
なお登録貨物車は同21.6%減、届出貨物車は同12.5%減と、共に3カ月連続でマイナスとなっている。総じて12月の自動車販売は消費増税の影響下にあり、不冴えな状況が続いている。

### ● 自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

### ● 乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

(年/月)

## 観光動向

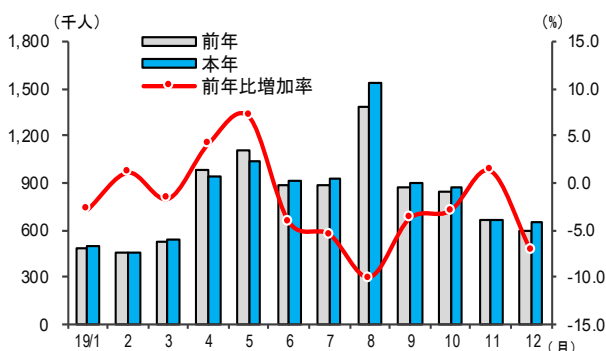
入込数、2カ月ぶりマイナス、宿泊者数、5カ月連続のマイナス

12月の県内観光動向は、観光施設入込数が2カ月ぶりにマイナスとなったほか、宿泊者数は5カ月連続のマイナスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比7.2%減の59万9,973人と、2カ月ぶりに前年実績を下回った。施設別では、石ヶ戸休憩所(前年同月比29.0%増)、浅虫水族館(同7.3%増)が増加したものの、青森県立美術館(同58.5%減)、八甲田丸(同16.8%減)、八食センター(同11.4%減)、弘前市立観光館(同7.3%減)、アスパム(同1.5%減)など、比較的集客ボリュームの大きい施設を中心に入込数が減少した。

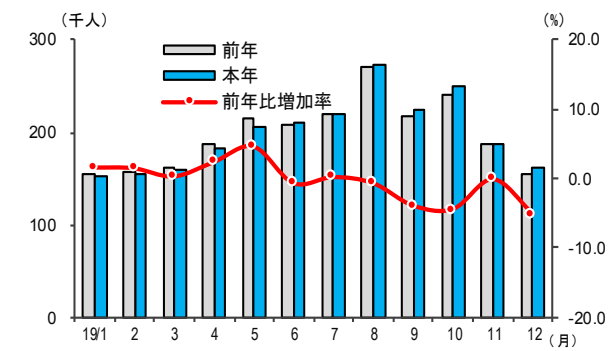
また、県内78施設の宿泊者数は、前年同月比5.2%減の15万4,563人と減少した。地域別では、上北地域(9施設)が前年同月比4.5%増の2万8,893人と増加したものの、八戸市内(18施設)が同8.3%減の3万6,709人、青森市内(12施設)が同6.3%減の2万2,864人、弘前市内(17施設)が同1.0%減の3万7,289人、下北地域(12施設)が同17.0%減の1万4,154人、西北地域(10施設)が同9.8%減の1万4,654人と、大半の地域で前年割れとなった。

### ● 県内35施設入込数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

### ● 県内78施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

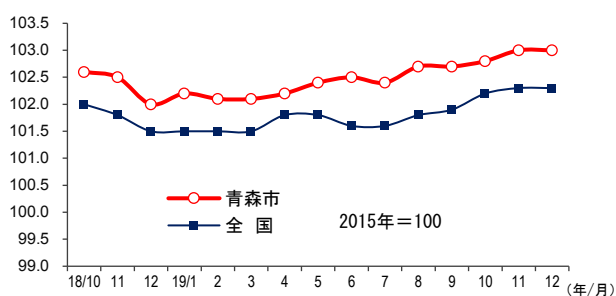
前月比 0.1%下落、生鮮魚介、寝具類下落

12月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比0.1%下落、前年同月比0.9%上昇の103.0となった。

主要費目別に前月と比べると、ウエートの大きい「食料」が、生鮮果実などが値上がりしたものの、生鮮魚介や酒類などが低下し前月比0.3%、「家具・家事用品」が寝具類などの値下がりにより同0.7%、「保健医療」が医薬品・健康保持用摂取品などの値下がりにより同0.3%、「光熱・水道」が電気代の値下がりにより同0.2%と、それぞれ低下した。一方、「教養娯楽」が教養娯楽用品や教養娯楽サービスなどの値上がりにより同0.4%、「諸雑費」が理美容用品などの値上がりにより同0.4%、「被服及び履物」が履物類などの値上がりにより同0.2%、「交通・通信」が通信の値上がりにより同0.2%上昇した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比0.1%下落、前年同月比0.6%上昇の103.1となった。

### 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

### 費目別指数の動き(2019年12月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.0	△ 0.1	0.9
生鮮食品を除く総合指数	103.1	△ 0.1	0.6
食料	105.9	△ 0.3	2.3
住居	101.3	0.0	1.5
光熱・水道	104.2	△ 0.2	△ 0.7
家具・家事用品	104.6	△ 0.7	3.6
被服及び履物	107.5	0.2	5.4
保健医療	102.8	△ 0.3	0.0
交通・通信	99.5	0.2	0.0
教育	98.4	0.0	△ 4.2
教養娯楽	104.2	0.4	2.8
諸雑費	97.8	0.4	△ 5.5

資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

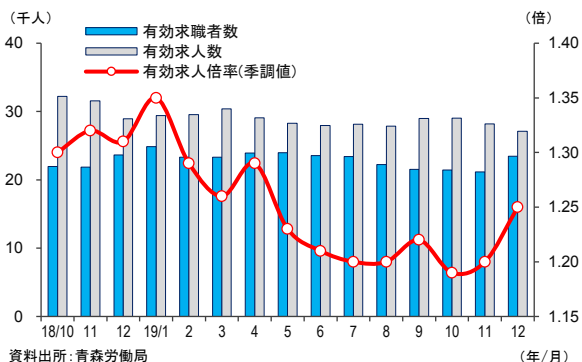
有効求人倍率 1.25 倍、前月比 0.05 ポイント上昇

12月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比6.3%減の2万7,100人、有効求職者数は同0.8%減の2万3,457人となった。有効求人倍率(季節調整値)は1.25倍となり前月比0.05ポイント上昇した。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比3.8%減、臨時・季節求人数が同18.2%減、パート求人数が同8.0%増となり、全数では同0.7%減の9,237人となった。新規求人倍率(季節調整値)は1.83倍となり前月比0.08ポイント上昇となった。

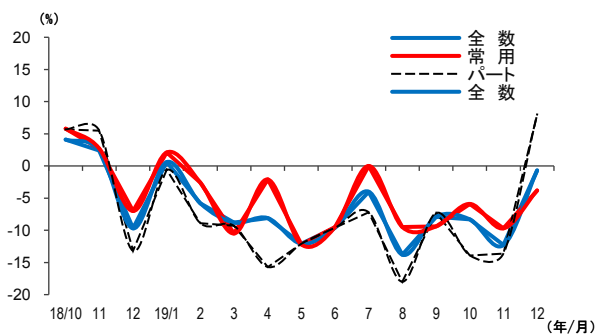
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、建設業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、社会保険・社会福祉・介護事業、サービス業(他に分類されないもの)など幅広い業種で減少した。一方、製造業、金融業、保険業、生活関連サービス業、娯楽業、医療業などでは増加がみられた。

### 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

### 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

# 物価・雇用・金融

## 企業倒産

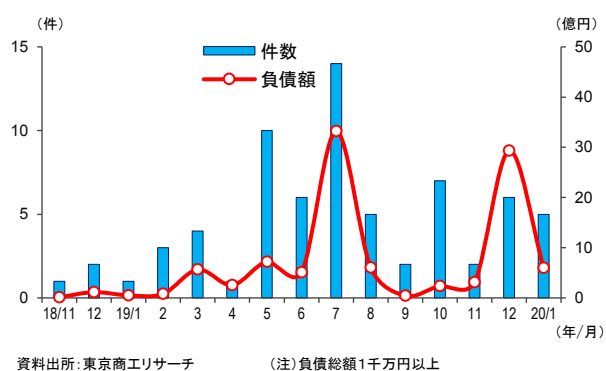
倒産件数、負債総額とも前年比大幅プラス

1月の県内企業倒産は、件数が5件、負債総額が5億9,700万円となり、前年同月比で件数が4件(400.0%)増、負債総額が5億4,600万円(1,070.6%)増だった。前月比では件数が1件(16.7%)減、負債総額が23億3,400万円(79.6%)減となった。件数は、前年比で4件の増加、負債総額は、大型倒産が1件発生した前月比では大幅な減少だが、1億円以上の倒産が2社発生したことから、前年比では増加となった。

地区別では、八戸市で2件、青森市、黒石市、三沢市で各1件の発生だった。業種は建設業が2件、一次産業・鉱業、卸売業、小売業が各1件ずつだった。原因は販売不振が3件、過小資本とその他が各1件だった。

なお1月の従業員被害者数は14人だった。

### ● 企業倒産状況



### ● 業種別・原因別件数 (2020年1月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	0
建設業	2	過小資本	1
製造業	0	他社倒産の余波	0
卸売業	1	既往のシワ寄せ	0
小売業	1	信用低下	0
金融・保険業	0	販売不振	3
不動産業	0	売掛金回収難	0
運輸業	0	在庫状況悪化	0
情報通信業	0	設備投資過大	0
サービス業 他	0	その他	1
合計	5	合計	5

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

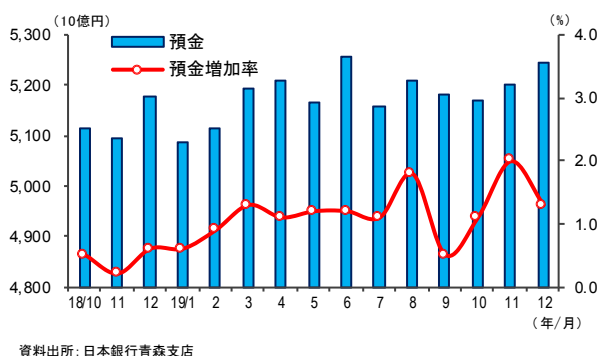
預金 80 カ月連続プラス、貸出金 7 カ月連続マイナス

12月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比1.3%増の5兆2,443億円、貸出金は同0.4%減の3兆759億円となった。

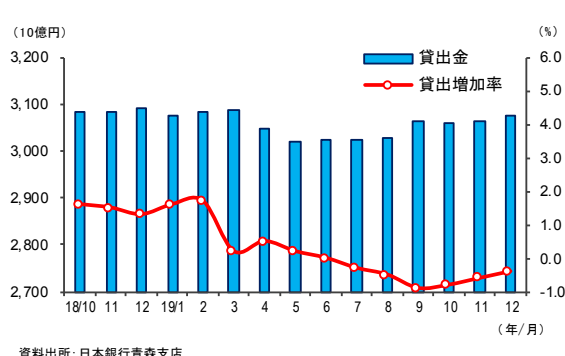
預金は、個人預金、法人預金の増加から前年を上回り、80カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比0.7ポイント減少した。

貸出金は、概ね横ばいながら前年を幾分下回り、7カ月連続のマイナスとなった。貸出金全体のマイナス幅は前月比0.2ポイント減少した。

### ● 預金の推移



### ● 貸出金の推移



# 国内景気

## 概況

—国内景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。—

個人消費は持ち直している。設備投資は緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。住宅建設は弱含んでいる。公共投資は堅調に推移している。輸出は弱含んでいる。輸入は、このところ弱含んでいる。貿易・サービス収支は、黒字となっている。生産は、引き続き弱含んでいる。企業収益は高水準ながら製造業を中心に弱含み。企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重さが増加。倒産件数は、このところ増加。雇用情勢は改善。国内企業物価はこのところ横ばい。消費者物価はこのところ上昇テンポが鈍化。

## 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 3.0%減と減少—

12月の百貨店・スーパー販売額は2兆195億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比3.0%減となった。業態別にみると、百貨店が同3.7%減、スーパーが同2.6%減となった。商品別にみると、衣料品が同7.1%減、飲食料品が同0.9%減、その他商品が同5.2%減。

## 住宅建設

—前年同月比 7.9%減、6カ月連続で減少—

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.9%減の7万2,174戸と6カ月連続で減少した。利用関係別では、持家が同8.7%減と5カ月連続の減少、貸家が同10.3%減と16カ月連続の減少、分譲住宅が同5.1%減と2カ月連続の減少となった。

## 企業倒産

—12月負債総額、30年間で2番目の低水準—

12月の企業倒産は、件数が前年同月比13.1%増の704件、負債総額は同91.7%増の1,568億6,400万円となった。倒産件数は4カ月連続で前年同月を上回ったものの、12月では90年以降の30年間で4番目に少ない件数だった。負債総額は2カ月連続で前年同月を上回ったものの、90年以降の30年間では2番目の低水準となった。1億円未満が521件と全体の74.0%を占めるなど、小・零細企業を中心にした状況が起因した。

## 為替動向

—1月末終値 109円03銭—

1月の東京外国為替市場は、前月末比1.04円高の108.10円でスタート。上旬は、米国・イランの対立緩和から円が売られる展開が続いた。中旬以降も米中関係改善から、110.20円まで円安が進行。下旬は、中国発の新型肺炎懸念から円買いが優勢となった。月末終値は109.03円。

## 鉱工業生産指数

—3カ月ぶりの上昇、前月比 1.3%上昇—

12月の鉱工業生産指数は前月比1.3%上昇の98.9(速報、季節調整値)と3カ月ぶりの上昇となった。原指数は前年同月比3.0%低下の101.5となった。前月比では、生産用機械、はん用・業務用機械、電子部品・デバイスなどは上昇し、一方、自動車、輸送機械、窯業・土石製品などは低下した。

なお1月は輸送機械、電気・情報通信機械、電子部品・デバイスなどの上昇により前月比2.5%の上昇を予測している。

## 新車販売(除く軽自動車)

—3カ月連続の低下、前年同月比 9.5%減—

12月の国内新車販売は前年同月比9.5%減の22万6,951台と3カ月連続で低下した。乗用車が同9.5%減、貨物車が同9.6%減となった。乗用車は普通乗用車が同7.4%減と3カ月連続の減少、小型乗用車は同12.1%減と13カ月連続の減少となった。

## 完全失業率

—完全失業率 2.2% 前月比横ばい—

12月の完全失業率(季節調整値)は、前月比横ばいの2.2%となった。完全失業者数は前年同月比14万人減の145万人となり、2カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比横ばいの20万人、自己都合が同11万人減の62万人などとなった。

## 消費者物価指数

—前年同月比 0.8%上昇の 102.3—

12月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比0.8%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の102.3となった。前年同月に比べ、すし(外食)、ほうれんそう、アイスクリーム、焼き魚、火災・地震保険料、自動車保険料、普通運賃(JR)、宿泊料、ペットフード、新聞代などが上昇し、携帯電話通信料、幼稚園・保育所保育料などは下落した。10月1日からの幼児教育無償化実施の影響がみられた。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比0.7%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の102.2となった。

## 国際収支

—経常収支、前年同月比 12.8%増—

12月の経常収支額は前年同月比12.8%増の5,240億円となった。サービス収支が黒字に転化したこと等から、黒字幅を拡大した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が1,452億円の黒字、第一次所得収支が4,001億円の黒字、第二次所得収支が213億円の赤字となった。

県内

**12/25 2019年産水稲、つがる市が10アール当たり収量で2年連続東北1位**

東北農政局が発表した2019年産水稲の市町村別収穫量によると、10アール当たりの収量(単収)は本県のつがる市が681キロとなり、2年連続で東北1位となった。また、つがる市は作付面積、収穫量も県内1位となった。

**1/5 豊洲市場初競り、大間産クロマグロ1億9,320万円**

豊洲市場で新春初競りが行われ、276キログラムの大間産クロマグロが1億9,320万円(1キログラム当たり70万円)で落札され、記録が残る1999年以降では昨年に次ぐ2番目の高値となった。

**1/7 2019年県内企業倒産件数、5年ぶりに増加**

東京商工リサーチ青森支店によると、2019年の青森県企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は前年比17件増の61件となり、5年ぶりに増加に転じた。負債総額は、同1億9,600万円増の96億2,200万円となった。

**1/15 2018年農業産出額、本県15年連続で東北1位**

農林水産省が公表した農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)によると、2018年の本県農業産出額は前年比3.8%増の3,222億円となり、15年連続東北で1位となった。畜産の産出額が減少したが、コメやリンゴが増加したことなどから4年連続で3,000億円を超えた。なお、農業産出額の全国順位は前年より1つ上げて7位だった。

**1/21 FDA青森-神戸線、新規就航**

フジドリームエアラインズ(FDA、本社・静岡市)は、新たに青森空港と神戸空港を結ぶ定期便を就航すると発表した。運行期間は3月29日から10月24日で、1日1往復運航を予定している。

国内

**12/30 大納会、29年ぶりの高値**

年内最後の取引となる東京株式市場の大納会で、日経平均株価は年末終値としては1990年以来、29年ぶりの高値となる2万3,656円62銭で取引を終えた。

**12/31 新成人、前年比3万人減の122万人**

総務省の人口推計によると、2020年1月1日現在における新成人は前年比3万人減の122万人となった。男女別では、男性が63万人、女性が59万人となり、女性100人に対する男性の数(人口性比)は105.8となった。また、総人口に占める新成人の割合は0.97%で、10年連続で1%を下回った。

**1/10 景気動向指数、基調判断4カ月連続「悪化」**

内閣府が発表した11月の景気動向指数(2015年=100)によると、景気の現状を示す一致指数は前月比0.2ポイント低下の95.1となった。なお、同指数の変化から機械的に決定される景気の基調判断は4カ月連続の「悪化」となった。

**1/14 街角景気、現状判断指数2カ月連続改善**

内閣府が発表した12月の景気ウォッチャー調査によると、足元の景況感を示す現状判断指数(季節調整値)は前月比0.4ポイント上昇の39.8と、2カ月連続で改善した。

**1/17 2019年の訪日外国人消費額、過去最高を更新**

観光庁の訪日外国人消費動向調査(速報)によると、2019年の訪日外国人旅行者の消費額は推計で4兆8,113億円と過去最高を更新した。

**1/23 2019年貿易収支、2年連続の赤字**

財務省が発表した2019年の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は1兆6,438億円の赤字となった。米中貿易摩擦による中国経済の減速を受け、中国向けの自動車部品などの輸出減少が響き、2年連続の赤字となった。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2015(H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016(H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017(H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018(H30)	1,103,625	779,084	515,480	0.901	-	101.3	101.3	104.2	105,091	144,020
2019(H31/R1)	1,127,418			0.861	-	101.5	101.8	P 101.2	104,323	158,582
2018(H30) 10	1,047,072	774,577	509,514	0.912	103.9	102.4	102.0	105.6	8,720	13,066
11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	102.2	102.1	101.8	104.6	8,714	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	101.0	101.4	101.5	104.7	8,692	10,737
2019(H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	100.1	100.8	101.5	102.1	8,223	10,843
2	1,066,271	776,595	512,069	0.898	101.4	101.2	101.5	102.8	8,367	10,291
3	1,072,160	792,224	518,432	0.891	100.9	101.5	101.5	102.2	8,688	23,228
4	1,087,111	793,654	518,441	0.888	101.4	101.9	101.8	102.8	9,137	8,921
(R1) 5	1,087,770	793,065	516,238	0.886	102.1	101.8	101.8	104.9	8,429	9,303
6	1,069,431	790,515	518,180	0.882	99.1	101.2	101.6	101.4	9,603	15,452
7	1,074,323	790,157	517,408	0.879	99.3	101.2	101.6	102.7	8,969	15,257
8	1,074,413	789,234	517,578	0.877	98.7	100.9	101.8	101.5	8,753	13,255
9	1,071,112	793,118	520,476	0.871	100.4	100.9	101.9	103.2	8,502	16,653
10	1,071,156	795,745	519,379	0.871	95.3	102.0	102.2	98.6	7,988	13,347
11	1,073,738	800,154	521,495	0.868	94.7	102.2	102.3	97.6	9,427	10,970
12	1,099,548			0.861	P 94.7	P 102.3	102.3	P 98.9	8,248	11,061
前月比%	2.4	0.6	0.4	-0.007ポイント	0.0ポイント	0.1	0.1	1.3	-12.5	0.8
前年同月比%	2.1	2.7	1.9	-0.040ポイント	-	0.9	0.8	-3.0	-3.5	3.0
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016(H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017(H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.16	22,764.94	184.488
2018(H30)	942,370	4,391	196,044	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2019(H31/R1)	905,123	4,301	193,902	8,383	14,232	2.4	P 200,597	109.01	23,656.62	178.847
2018(H30) 10	83,330	347	15,862	730	1,176	2.4	13,163	112.78	21,920.46	184.792
11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019(H31) 1	67,087	342	16,322	666	1,684	2.5	5,743	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	14,345	589	1,955	2.3	25,928	110.36	21,385.16	183.091
3	76,558	533	16,544	662	971	2.5	27,871	111.21	21,205.81	183.632
4	79,389	315	15,354	645	1,069	2.4	16,626	111.66	22,258.73	183.527
(R1) 5	72,581	327	15,631	695	1,075	2.4	16,501	109.83	20,601.19	182.033
6	81,541	367	15,977	734	870	2.3	12,549	108.06	21,275.92	181.001
7	79,232	379	16,242	802	934	2.2	20,284	108.22	21,521.53	179.303
8	76,034	317	15,889	678	871	2.2	21,517	106.27	20,704.37	176.139
9	77,915	459	16,716	702	1,130	2.4	15,802	107.41	21,755.84	176.796
10	77,123	260	14,577	780	886	2.4	P 18,168	108.12	22,927.04	178.414
11	73,523	316	16,108	727	1,225	2.2	P 14,368	108.86	23,293.91	177.232
12	72,174	284	P 20,195	704	1,569	P 2.2	P 5,240	109.18	23,656.62	178.847
前月比%	-1.8	-10.1	0.7	-3.2	28.1	0.0ポイント	-	0.3	1.6	0.9
前年同月比%	-7.9	-11.2	-3.0	13.2	91.8	-0.2ポイント	12.8	-2.9	18.2	-1.0
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社		

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額 (百万円)		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	171,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292	51,955	30,877	109.9	158,202	60,779	44	9,426
2019 (H31/R1)	1,246,291	-6,048							61	9,622
2018 (H30) 10	1,262,815	113	381	51,165	30,833	109.6	13,024	4,722	5	1,167
11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	109.5	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	108.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	110.5	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820	110.0	2,855	902	3	80
3	1,257,081	-5,772	275	51,955	30,877	107.4	8,063	5,616	4	565
4	1,250,444	856	637	52,084	30,485	110.8	30,114	9,352	1	254
(R1) 5	1,250,387	-68	-74	51,664	30,183	114.9	19,489	3,561	10	721
6	1,249,314	-272	329	52,589	30,221	103.3	19,754	5,459	6	508
7	1,248,340	93	274	51,601	30,230	112.2	22,472	7,915	14	3,319
8	1,247,658	75	284	52,102	30,258	106.1	16,775	6,618	5	602
9	1,246,877	261	227	51,840	30,619	107.3	21,293	12,045	2	43
10	1,246,291	-86	551	51,703	30,595	108.5	13,086	4,892	7	238
11	1,245,302	88	248	52,013	30,628	P 110.5	10,430	2,644	2	310
12	1,244,404	-106	532	52,443	30,759		6,307	1,688	6	2,931
2020 (R2) 1	1,243,281		-132						5	597
前月比 %	-0.1	-	-	0.8	0.4	1.8	-39.5	-36.2	-16.7	-79.6
前年同月比%	-1.3	-	-	1.3	-0.4	-0.5	19.2	123.8	400.0	1,070.6
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店			県統計分析課	東日本建設業保証		東京商工リサーチ	

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905	258,198	153.9
2019 (H31/R1)	32,884	44,958	6,174	3,772	1,734	796,245	102.5			
2018 (H30) 10	2,666	3,684	550	340	153	56,817	102.6	254,477	224,763	158.1
11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	3,157	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675	222,455	144.8
3	4,375	5,852	470	252	177	44,579	102.1	374,056	228,090	148.1
4	2,969	4,041	630	478	93	75,535	102.2	277,800	229,855	152.9
(R1) 5	2,378	3,415	514	379	87	97,405	102.4	289,743	240,340	143.6
6	2,879	3,809	596	435	115	65,843	102.5	334,732	333,254	151.7
7	3,624	4,439	592	367	141	61,359	102.4	341,615	282,592	157.3
8	2,329	3,169	548	336	159	135,866	102.7	264,499	238,878	148.6
9	3,374	4,618	631	341	226	64,057	102.7	284,452	223,198	152.4
10	2,145	3,009	489	291	149	88,474	102.8	194,777	225,680	154.0
11	2,349	3,279	496	303	128	50,620	103.0	242,927		
12	1,866	2,441	413	260	90	42,317	103.0			
前月比 %	-20.6	-25.6	-16.7	-14.2	-29.7	-16.4	-0.1	24.7	1.1	1.0
前年同月比%	-19.6	-17.9	-18.7	-5.5	-47.4	-16.1	0.9	-14.4	0.4	-2.6
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377	278,484	310	215	108,192	18,120
2019 (H31/R1)									66,117	14,759
2018 (H30) 10	13,308	8,420	1,982	4,606	4,151	24,718	297	253	23,592	2,961
11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	12,409	7,404	1,783	4,366	2,847	35,404	278	163	1,294	700
3	14,461	8,329	2,697	4,463	3,644	34,136	266	151	427	149
4	13,349	8,432	1,877	4,760	4,701	31,397	281	255	709	240
(R1) 5	13,406	8,804	2,027	4,870	5,028	20,317	349	-	988	249
6	13,610	8,565	2,084	4,874	4,127	13,824	394	-	847	241
7	13,593	9,271	2,345	5,029	4,301	10,331	440	-	4,821	2,144
8	15,291	9,836	2,628	5,248	4,642	2,695	456	-	4,208	1,677
9	13,828	8,715	3,429	5,424	4,537	20,734	289	178	12,528	3,266
10	12,895	8,692	1,652	4,816	3,742	26,055	295	248	19,790	2,159
11	13,391	8,264	1,937	4,664	4,110	22,788	327	233	13,129	2,111
12	P 17,309	P 8,838	P 2,661	P 5,256	P 4,758	26,806	377	223	6,588	1,488
前月比 %	-	6.9	37.4	12.7	15.8	17.6	15.3	-4.3	-49.8	-29.5
前年同月比%	-2.6	-0.9	-8.3	6.7	-7.5	-1.3	14.9	28.2	-52.8	-36.3
資料出所	経済産業省					県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)	1.30	1.82	-	8,791	6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2019 (H31/R1)					5,569	41,397	119,680	173,963	-	-
2018 (H30) 9	1.29	1.81	5,393	589	667	4,435	11,353	17,657	-	-
10	1.30	1.74	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	0.0
11	1.32	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.31	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.35	1.99	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-13.0
2	1.29	1.78	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	
3	1.26	1.74	5,269	628	229	1,942	15,503	14,782	-	
4	1.29	1.82	5,505	673	899	6,306	8,097	15,277	47.8	-12.2
(R1) 5	1.23	1.61	5,887	734	386	4,970	9,333	15,976	-	
6	1.21	1.58	5,865	654	588	6,137	14,576	10,604	-	
7	1.20	1.69	6,567	790	823	3,891	8,057	15,715	46.5	-1.3
8	1.20	1.70	6,505	783	321	2,113	9,393	14,502	-	
9	1.22	1.68	5,593	621	362	2,781	9,869	15,442	-	
10	1.19	1.75	5,462	687	636	2,289	9,446	14,164	40.2	-20.3
11	1.20	1.75	5,150	574	177	625	8,067	18,170	-	
12	1.25	1.83	5,611	633	477	3,585	8,097	13,120	-	
前月比 %	0.05 ポイント	0.08 ポイント	9.0	10.3	169.5	473.6	0.4	-27.8	-6.3 ポイント	#####
前年同月比%	-0.06 ポイント	0.04 ポイント	4.9	6.3	34.3	150.3	94.5	-12.3	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港 乗降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,916,288	2,381,412	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2019 (H31/R1)	9,676,590	2,370,177	1,246,453	17,318	355,994	543,869	505,308	-	-	-
2018 (H30) 9	901,920	225,452	104,980	1,168	34,973	47,950	43,731	} 3.5	} -1.5	} -2.5
10	866,342	250,355	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083			
11	657,905	187,797	104,042	1,265	26,723	41,188	43,392			
12	646,376	163,037	85,903	1,269	24,390	37,673	40,020			
2019 (H31) 1	479,267	155,458	86,981	1,610	24,429	32,159	36,705	} -8.3	} -24.6	} -8.6
2	457,901	158,377	81,277	1,411	24,259	34,254	35,455			
3	523,721	161,060	102,033	1,493	22,737	36,368	39,240			
4	980,094	186,234	95,074	1,231	27,109	47,466	42,180			
(R1) 5	1,110,532	213,154	109,202	1,394	30,048	49,256	45,434	} -10.3	} -21.7	} -6.1
6	879,417	207,115	101,721	1,505	31,094	43,985	44,148			
7	883,067	219,264	109,983	1,481	31,650	48,722	44,179			
8	1,387,724	271,254	130,867	1,721	43,404	61,517	52,731			
9	868,060	216,501	115,993	1,327	32,971	49,912	42,424	} -4.9	} -7.2	} 7.2
10	840,091	239,583	113,264	1,491	39,575	57,375	44,581			
11	666,743	187,614	110,935	1,303	25,854	45,566	41,522			
12	599,973	154,563	89,123	1,351	22,864	37,289	36,709			
前月(期)比%	-10.0	-17.6	-19.7	3.7	-11.6	-18.2	-11.6	-17.6ポイント	-9.9ポイント	-28.2ポイント
前年同月(期)比%	-7.2	-5.2	3.7	6.5	-6.3	-1.0	-8.3	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内78施設合計 (2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441
2019 (H31/R1)	275,786	170,556	223,338	8,542	4,109	6,686	1,598	828	1,311
2018 (H30) 10	279,133	172,447	225,463	626	302	564	140	78	116
11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114
12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90
3	277,962	171,643	224,771	1,146	622	813	111	94	101
4	276,180	170,508	223,720	798	300	633	181	90	114
(R1) 5	276,823	170,863	223,822	574	276	480	109	66	131
6	276,567	170,766	223,666	732	363	591	168	75	112
7	276,309	170,706	223,516	1,022	396	791	131	61	152
8	276,158	170,663	223,545	616	317	458	119	86	111
9	275,943	170,560	223,446	799	445	674	196	93	124
10	275,786	170,556	223,338	600	238	449	116	64	88
11	275,646	170,445	223,257	639	266	496	168	65	98
12	275,507	170,365	223,107	572	245	322	83	43	105
2020 (R2) 1	275,351	170,268	222,910						
前月比%	-0.1	-0.1	-0.1	-10.5	-7.9	-35.1	-50.6	-33.8	7.1
前年同月比%	-1.2	-1.1	-1.0	-14.4	-5.8	-25.8	-24.5	-35.8	-26.6
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。